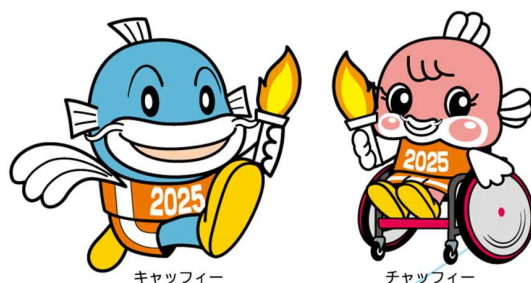


わたSHIGA輝く国スポ・障スポ の準備状況



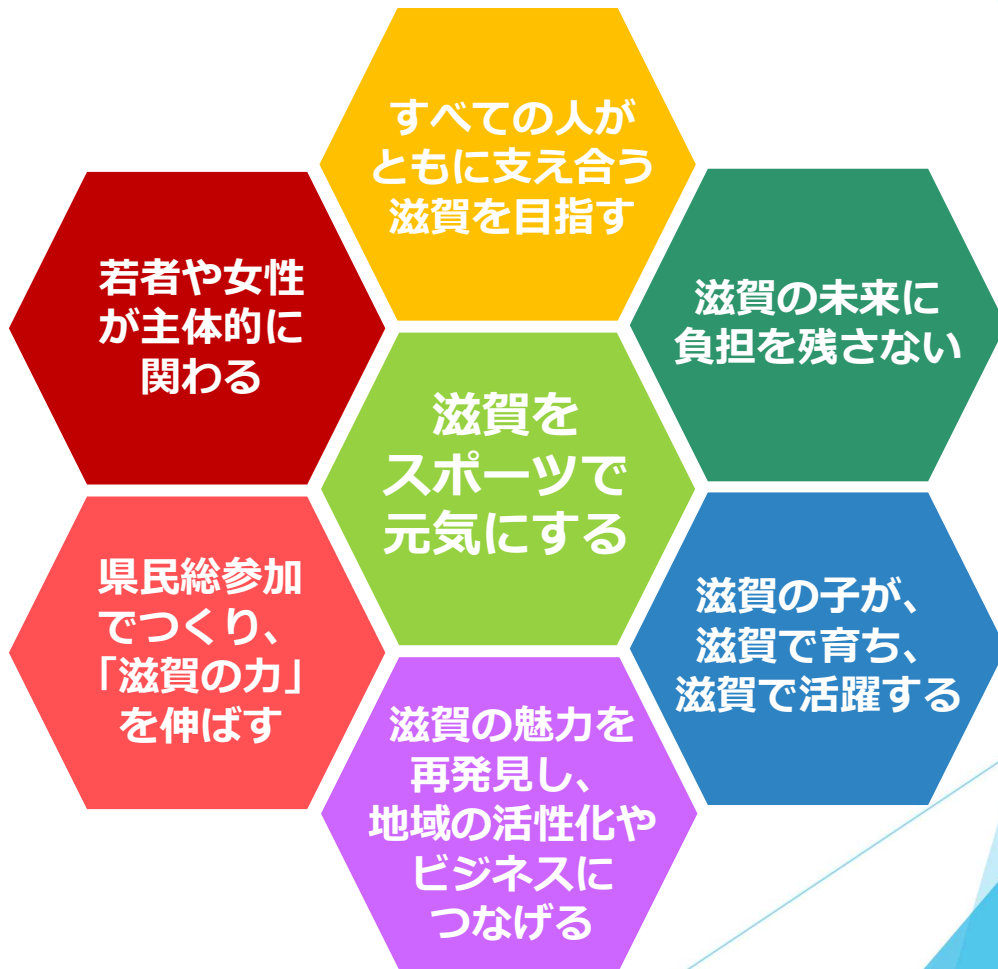
湖国の感動 未来へつなぐ

わたSHIGA輝く 国スポ・障スポ 2025

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

令和5年（2023年）4月

滋賀県文化スポーツ部 国スポ・障スポ大会局




滋賀をスポーツで元気に！

今年3月のびわ湖マラソン大会の良かった点、ランナー、ボランティア、行政関係者からは「声援」「楽しい」「また参加したい」との多くの声



そんな機会を **2025年**にも

国民スポーツ大会の概要

目的	○スポーツの普及 ○健康増進と体力の向上 ○地方スポーツの推進と地方文化の発展 ○国民生活を明るく豊かに	
開催期間 (滋賀国スポ)	令和7年(2025年)9月28日～10月8日の11日間	
実施予定競技	○正式競技〔本大会37競技〕 ○特別競技〔1競技〕 ○公開競技 ○デモンストレーションスポーツ	
参加者数	約22,000人(選手・監督)	


- ・ **国内最大のスポーツの祭典** を都道府県持ち回りで開催
- ・ 昭和56年(1981年)の「びわこ国体」以来**44年ぶり** 2回目の開催！



びわこ国体開会式

※2024年より「国民体育大会」から「国民スポーツ大会」に名称変更

全国障害者スポーツ大会の概要

目的	○障害のある選手がスポーツの楽しさを体験 ○国民の障害に対する理解を深める ○障害者の社会参加の推進	
開催期間 (滋賀障スポ)	令和7年(2025年)10月25日～10月27日の3日間	
実施予定競技	○正式競技〔14競技(個人7、団体7)〕 ○オープン競技	
参加者数	約5,500人(選手・監督・役員)	

全国**身体**障害者
スポーツ大会



全国**知的**障害者
スポーツ大会

昭和56年(1981年)に滋賀で開催

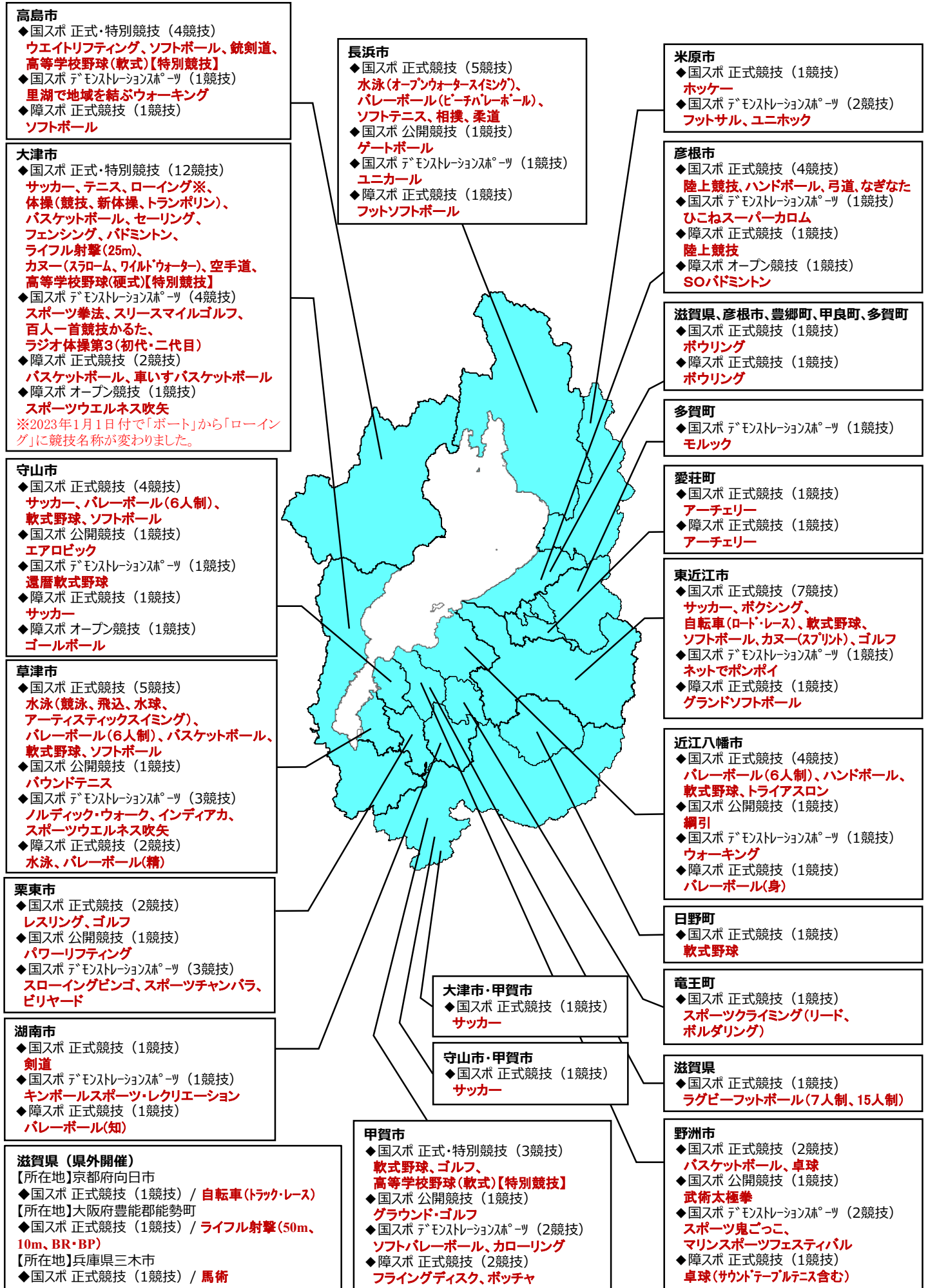
平成13年(2001年)に統合



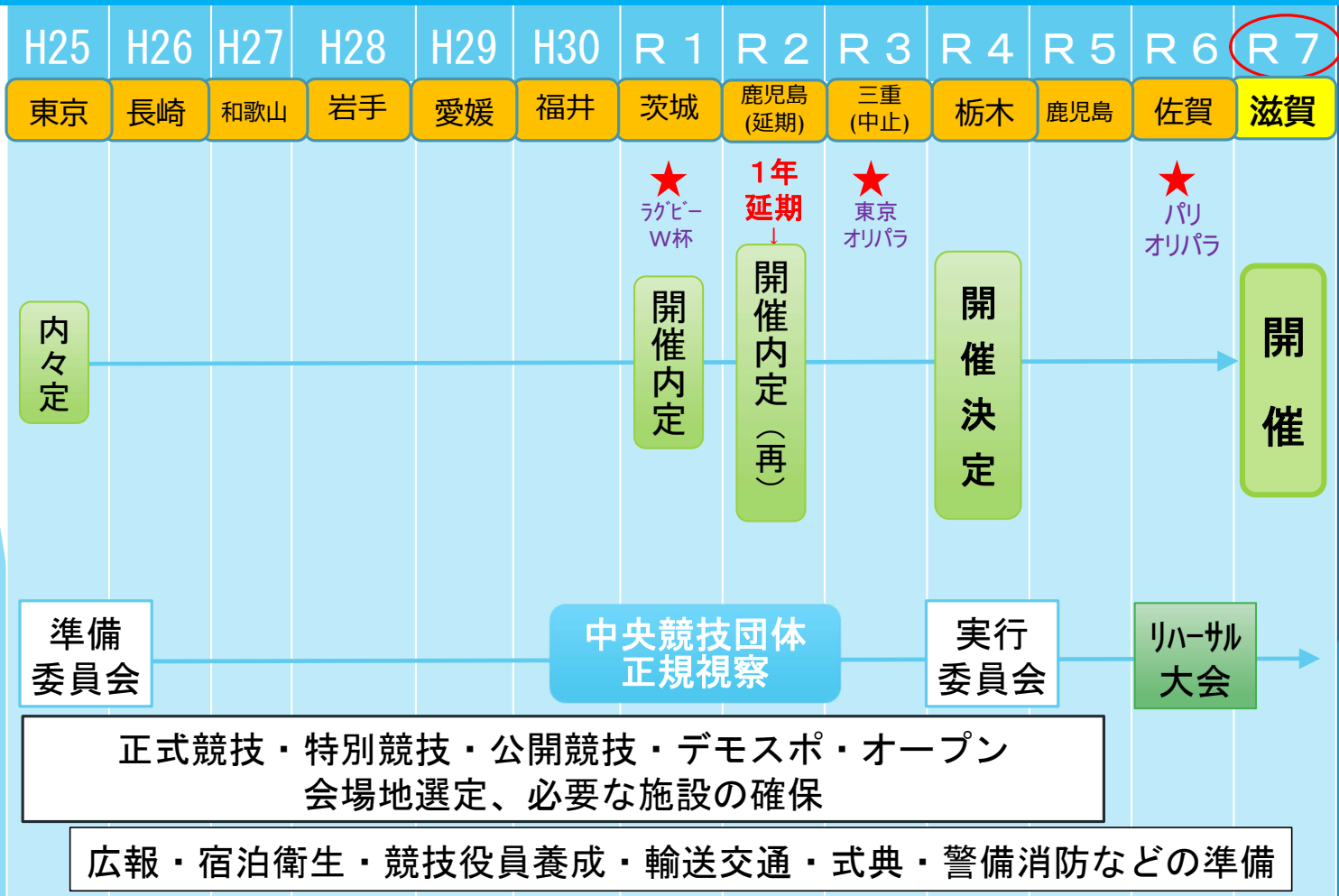
全国障害者スポーツ大会



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 会場地配置図



開催準備スケジュール



栃木国体・障スポの参加者数等

参加者数 ※延べ人数（選手・監督、大会関係者、観覧者等の合計）

延べ約42万人

	開会式	閉会式	競技会	合計
国体	17,862人	11,230人	328,983人	358,075人
障スポ	13,818人	14,297人	29,988人	58,103人
合計	31,680人	25,527人	358,971人	416,178人

宿泊者数

延べ約15万人

	延べ宿泊者数	ピーク時の宿泊者数
国体	125,511人	12,527人 (10/7)
障スポ	27,103人	5,871人 (10/29)
合計	152,614人	

経済波及効果 ※平成27年栃木県産業関連表を用いて栃木県が推計

両大会を契機に多くの方が滋賀を訪れる

約1,174億円

経済の活性化に

開催に向けた今後の取組

【広報・県民運動・式典】

★大会広報

- ・ 2年前イベントの開催による機運醸成
- ・ 公式ポスターを公募により制作
- ・ イメージソングの学校での啓発（昼休み校内放送、手話教室等）



本県での国スポ開催が決定

★県民参加

- ・ ボランティアの募集開始（メディア、ポスター等で告知）
- ・ 花いっぱい運動（花育て教室20校で開催）



大会啓発ポスターの制作

★環境配慮

- ・ CO2ネットゼロ等に向けた取組検討（バス輸送の縮減等）
- ・ 簡素でありながらも滋賀らしい開閉会式の検討



イメージソング
学校での取組

【競技会運営】

★競技会運営準備

- ・ 競技会開催に向けた県、市町、競技団体の連携推進
- ・ リハーサル大会開催準備
- ・ 消耗品等の効率的な発注の検討



競技会運営準備

★競技役員養成、競技補助員の確保

- ・ 競技団体への支援・調整



障スポ競技会場のバリアフリー調査

★競技会場整備の支援

- ・ 市町競技施設整備費補助金による支援

【配宿・輸送】

★宿泊・輸送センター開設（R6）準備

- ・ 宿泊・輸送業務を会場地市町とともに円滑に実施するため、令和6年度に宿泊・輸送センターを開設予定



競技役員・補助員の養成・確保